

研究・調査報告書

報告書番号	担当
225	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
The influence of sex hormones on the elimination kinetics of ethanol. エタノール消失動態への性ホルモンの影響	
執筆者	
Dettling A, Skopp G, Graw M, Haffner HT.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Forensic Sci Int. 2008 May 20;177(2-3):85-9.	
キーワード	
エタノール、代謝、性ホルモン	
要 旨	
<p>本研究では、エタノール消失動態への性ホルモンの影響を調べた。47名の健康な男性 (25±6.1歳) と61名の健康な女性 (24±2.4歳) にアルコールを0.79-0.95g/kg体重ほど摂取してもらい、血中アルコール濃度と性ホルモン (エストラジオール、プロゲステロン、テストステロン) を調べた。男性では、テストステロン 5.3±1.6ng/mL、エストラジオール 34.6±13.6pg/mL、プロゲステロン 0.9±0.3ng/mLであった。女性では、エストラジオール 47.6±52.6pg/mL、テストステロン 0.8±0.4ng/mLであった。女性では、プロゲステロン濃度は高いグループ (n=11) で 11.1±3.5ng/mL、低いグループ (n=50) で 0.6±0.3ng/mLであった。エタノール消失速度は男性では 0.1677±0.0311g/kg/時間、女性ではプロゲステロン濃度は高いグループで 0.2044±0.0414g/kg/時間、低いグループで 0.1850±0.0276g/kg/時間であった。プロゲステロン濃度が低い女性グループのエタノール消失速度は、男性よりも顕著に早かった。完全ではないが、プロゲステロン濃度でエタノール消失速度の性差について部分的に説明できると考えられた。</p>	